

## 令和 2 年度 図書館活動評価 基本評価（案）

## 1 数値目標設定にあたって

- ・長岡市立図書館の運営方針の中で利用者の拡大を図るということを重点事項としているものの、新型コロナウイルス感染症拡大予防をしながらの運営となることを考慮した目標設定とする。
- ・北地域図書館は空調設備工事のため、9月の1か月間は休館する。（一部業務を敷地内に設置するプレハブ事務室で実施）

## 2 基本評価項目

基本評価項目	令和元年度 実績	令和2年度 目標値	考え方・備考
入館者数 (中央図書館・人)	312,564	218,800	新型コロナウイルス感染症による影響を考慮した上で、令和元年度の来館者数の70%を目標とする。
個人貸出冊数(冊)	1,651,636	1,684,600	新型コロナウイルス感染症による影響を考慮した上で、令和元年度の貸出冊数の2%の増加を目標とする。
予約件数(件)	208,806	217,100	近年増加傾向にあることから、令和元年度の実績より4%の増加を目標とする。
有効登録者数(人)	45,258	45,200	近年減少傾向ではあるものの、様々な事業の実施と広報周知を行うことにより、昨年度の実績を維持することを目標とする。
実登録者数(人)	34,223	34,200	近年減少傾向ではあるものの、様々な事業の実施と広報周知を行うことにより、昨年度の実績を維持することを目標とする。
インターネットアクセス件数(件)	274,419	274,400	近年減少傾向が続いているため、昨年度の実績を維持することを目標とする。
郷土資料受入点数	2,670	2,700	郷土資料出版点数の減少が見込まれるため、過去5年間の平均の数値を目標とする。
窓口対応満足度(大変よい+よい)%	86.9	86.0	過去5年間の平均値とする。
大活字本の所蔵冊数	7,011	7,000	大活字本は出版点数が限られるため、昨年度実績の維持を目標とする。
新規購入冊数の割合 (32,063冊)	3.6%	3.6%	予算内で選書を工夫し、昨年度実績の維持を目標とする。

<参考>

項目	令和元年度	令和2年度	備考(人)
長岡市の人口(各年4月1日)	269,920	267,642	▲2,278

項目	重点事項	重点事業	事業説明
1	当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。	① 貴重資料の活用	・所蔵している貴重資料を定期的にエントランスで展示 ・貴重資料をSNSで公開
		② 郷土資料の充実	・古書目録等から情報収集をして郷土資料を積極的に収集
		③ 古文書等の歴史資料の収集・保存・活用	・古文書等の歴史資料の目録を作成し、公開して市民の利用に供する。
		④ 歴史公文書の収集・保存	・歴史公文書の目録を作成し、市役所での内部公開を検討する。
		⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用	・資料整理ボランティア等と連携して目録を作成し、長岡市の災害対応の経験・教訓を伝える記録資料として広く公開・活用する。
2	課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。	① 図書館蔵書の充実	・市民の多様なニーズに対応する図書、雑誌などの収集、活用、保存に努める。 ・地域図書館の図書(ビジネス書など)充実を図る。
		② レファレンスサービス(調べもの相談)の充実	・図書館の蔵書や雑誌・新聞記事データベースなどを使い、市民の調べものに必要な図書を探す調査支援の充実を図る。
		③ 図書館の環境整備	・中央図書館の天吊水銀灯等照明器具をLEDに改修、空調設備修繕、非常用自家発電機修繕 ・西地域図書館の雨漏り修繕 ・南地域図書館の非常用照明バッテリー交換 ・北地域図書館の空調設備改修工事
3	積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。	① 所蔵資料展	・長岡市立中央図書館の近年の新収蔵資料を中心に展示 会期:12月4日(金)～12月16日(水)予定
		② 広報について	・ホームページやフェイスブックを使った広報について評価。新聞、テレビ等露出回数を評価項目とする
		③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	・特色資料に関連した、または地域の団体・学校などと連携した事業を継続し実施 ・調べる学習コンクールなど図書館資料を活用した事業の展開
4	長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。	① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施	・子どもたちに読書の楽しさを伝え、読書習慣の向上につながる施策の実施
		② 子ども向け図書館サービスの充実	・こどもが楽しめる図書館のイベントを実施し、図書館の利用をPRする。 ・謎解きゲーム「図書館からの挑戦状」の実施
		③ 学校向け図書館サービスの実施	・遠隔地域に出向いて米百俵号による巡回や学校配本、授業用セット貸出等を実施する。
5	市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。	① 利用者アンケートの実施	・例年どおり実施し、昨年との比較や現状の利用者の意見を把握図書館運営に活かす。 ・HPでのアンケートも実施する。
		② 友の会事業	・図書館支援団体として図書館と連携し、活動を図書館の運営に活かす。
		③ ご意見ポスの設置	・日々の利用者の意見を聞き、今後の業務に活かす。
6	勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	① 外部研修・遠隔研修	・県立図書館等が主催する研修に職員が参加し、研修で得たことを職員間で共有し、図書館職員のスキルアップを図る。 ・地域館でも県立図書館主催の研修に参加するほか、TRCが企画するステップアップ研修などにスタッフを参加させ、知識やスキルが向上するよう努める。
		② 職場内研修	・主に主任以上の職員が講師となり、研修を行う。 ・地域館では例年通り、全スタッフが参加する全体研修を実施するほか、中央館との合同研修や職員研修への参加も継続して行う。